

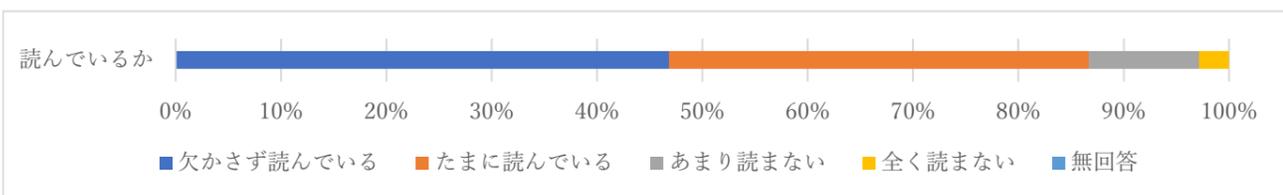
先日は「家庭学習応援だより」に関するアンケートへのご協力ありがとうございました。回答していただいた方すべてに目を通させていただきました。ご回答いただいた保護者の皆様は、きっとお子様の学習や学力に関心が高い方だと思います。この関心の高さが、記事を作る励みとなっています。今年度は、もう一度、アンケートの協力をお願いしたいと考えています。ぜひ、ご協力をお願いいたします。

また、コメントをお寄せいただいた皆様には、生の声を聴くよい機会となりました。こうした生の声が新たな記事を作るヒントになりますので、大変ありがたかったです。すべての保護者が満足いく記事を作ることは不可能ですが、いただいたコメントを参考に、よりよいお便りが発行できればと思います。

質問1 「家庭学習応援だより」を読んでいるか？



半数近くの方が「欠かさず読んでいる」と回答していただきました。また、「たまに読んでいる」と合わせると85%以上になっています。ありがとうございます。保護者の皆様の関心の高さがうかがえます。「全く読まない」というご家庭もあるようです。暇つぶしに、一読いただければと思います。



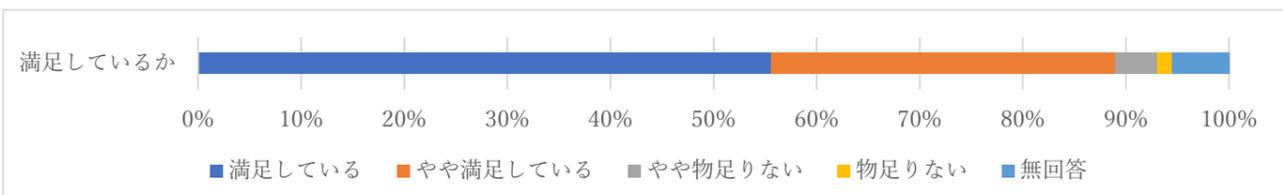
質問3 「家庭学習応援だより」には満足しているか？



こちらは、満足度に関する項目です。回答の傾向としては、「欠かさず読んでいる」方のほとんどが、「満足している」と回答されているという点でした。「満足している」方だけで半数を超えるとは思わなかったのが意外でした。ありがとうございます。「満足している」のに、「たまに読んでいる」方は、ぜひ、毎号読んでいただければと思います。

一方、「やや物足りない」や「物足りない」という方は、わざわざお便りで書かれるまでもなく、家庭学習に関する知識や情報をすでに十分お持ちで、かつ実践している【意識高い系】のご家庭なのかなと思います。これでは、お便りの情報は「物足りない」はず。もし、お便り以上の情報を求めていらっしゃるなら、教育関係の雑誌や専門の書籍をお読みいただければどうでしょうか。現在、家庭学習に関する書籍はたくさん出版されています。ご家庭に合ったものを見つけていただければと思います。

また、「物足りない」と回答された方の中には、独自の教育観をお持ちのご家庭もいらっしゃるかと思います。情報には左右されない確固たる教育方針があり、お便りにある情報は「物足りない」というより、きっと役に立たないのではないのでしょうか。もちろん、こちらもご家庭の方針通りにしていただけたらと思います。



質問4 どんな記事を取り上げてほしいか？



以前よりもアンケートへの回答が多くなった分、低学年(1~3年)と高学年(4~6年)に分けてみようと思います。ひよっとしたら関心事に傾向があるかもしれません。残念ながら、すべては取り上げられないので、多かったものを載せたいと思います。

【低学年】

- 「大洋小のおともだちが実際に取り組んでいる家庭学習の良い例」、「スムーズに家庭学習に取り組めるように皆さんが工夫していることや上手な声かけや成功例」、「実体験に基づくエピソード」、「みなさんがどんなことをやっているのか、どんな習い事をどのぐらいのペースでやっているのか」など、他の家庭での取組や実践
→他の家庭がどうなっているかはとても気になる場所ですね。上手くやっているならなおさらです。「うちは上手くやっているよ。」という方がいらしたら、ぜひ学校までご連絡ください。くわしくお聞きしたいと思います。
- 「家庭学習で何をしたらいいのかわからなかったので各学年のおすすめのドリルや、やり方をもっとくわしく教えていただけるとありがたいです」、「具体的にどんな勉強方法をすれば成績が上がるのか」、「子供にやる気を出させる方法」、「子どもが楽しくやる気を出せるコツ」、「どうしたら自主学習を身に付けさせることができるか？」など、学習方法や学習教材
→学習方法や学習教材に関する情報は、教育情報誌やインターネットでもいろいろなことが紹介されており、何がよいのか迷ってしまう時代です。ただ、くどいようですが、「これさえやっておけば大丈夫」というものはありませんし、どんなに優れた教材や学習方法も継続できなければ、効果は期待できないでしょう。究極的には、「学び続ける力(←教育用語では『学びに向かう力』と言います)をいかに高めるか」ということに尽きると思います。

【高学年】

- 「子供が自ら進んで学習できる環境作り」、「各家庭で、どのような家庭学習が行われているのか」、「宿題だけで大丈夫??」、「家庭学習のやり方」、「勉強の教え方」、「放課後の過ごし方」、「習い事」、「1人っ子、兄弟などでワンポイントアドバイスがあれば・・・」、「親がどれくらい口を出していいものなのかなど、子供のやる気を損なわず進めることが難しい」、「学年事にもっとくわしい内容で今の、学校での姿勢や取り組み方、今後の目標をもとにした学習の仕方を知りたい」、「子供の性格に合った勉強のさせ方」など、学習方法や直接的・間接的な関わり方
→低学年でもありましたが、学習方法は共通した関心事なようです。また、高学年ともなると、思春期を控え、あるいは迎え、子供との距離感が難しく感じられるころです。子供とどう関わればよいかに関心がいくようです。
- 「中学受験について知りたい」、「受験情報」
→こちらの要望は、何名かいらっしゃいました。具体的に中学受験の何が知りたいのかまではわかりませんでした。全国的に中学受験率は増えている傾向があるようです。鹿行地域にも私立中学以外に、県立高附属中という選択肢ができました。低学年の保護者からの声はありませんでしたが、数年後には中学受験させたいと思っている家庭はあるかもしれません。
- 「担任の先生からクラスの学習の様子などが知りたい」、「担任からの得意、不得意の意見はとても参考になりました。またやってほしいです。」など、学級での学習の様子
→学校の話が多く出る家庭でも、普通の授業や学級全体の学習の様子までは、わからないものです。次号以降に、担任から見た子供たちの学習の様子をお伝えします。また、11月の二者面談の機会をご活用ください。

質問5 お便りの感想をお願いします



感想は多くの方が、ご記入くださいました。記事への要望はなくとも、感想を一言添えてくださった方のほとんどが、感謝や労い、お便りへの共感の言葉でした。お寄せいただいたすべて(10月5日現在)の感想を裏面で紹介させていただきます。 ※ 本お便りに対しての感想ではないと思われるものは、載せていません。

○「私だけでなく、主人も毎回この応援だよりを楽しみにしており、欠かさず読ませていただいております。」「内容の切り口が斬新でいつも興味深く読ませていただいております。これからも楽しみにしています。」「いつもありがとうございます。これからもよろしく願い致します。」「いつもためになる内容で勉強になります。ありがとうございます。」「毎回テーマ、内容ともに面白く読ませていただいております。」「統計やグラフを用いてとてもわかりやすい内容にまとめられているので、毎回『家庭学習応援だより』を楽しみにしています。」「お忙しいなか、このようなお便りを作っていただきありがとうございます。今後もいろいろな情報をいただける事を期待しています。」「色々考えて作っていただき感謝しています。ありがとうございます。楽しみにしています。」「毎回読みごたえがあり、内容も充実されていますので楽しみにしています。」「毎号なるほど!!と様々な気づきをいただいております。その気づきを子供との生活の中に生かしていければいいな~と思っています。今後も楽しみにしています。」「毎号、楽しく読ませていただいております。これからもよろしく願い致します!」「くわしく書かれていて満足している。」「いつも楽しみにしています。『家庭学習応援だより』は、改めて知る内容が多く、自分自身に為になる事が多いです。もっと、回数を多くして頂けたら~と思います。」(←これ以上のペースで発行するのは、無理です。ごめんなさい。)、**「いつも必ず読んでいます。なかなか実践まで至ることは難しいことでもあります。親として自分を振り替える時間が持てる内容もあり、貴重です。自分も含め、今の親は学校に甘えています。厳しく言ってくれて大丈夫です!」「他の家庭の学習状況や、過ごし方などが分かり、とてもありがたいです。特に習い事について。親のエゴでは…?と思う時もあり、少し考えさせられました。子どもと話し合っ**

て考えていきたい」と思っています。」「これからも楽しみにしています。」「おもしろいです。」「このままで、いいとおもいます。」「毎回楽しみに読ませていただいております。学習や生活面での情報を読んで役立てています。これからも楽しみにしています。」といった、期待や感謝の言葉。

→こんなにもたくさんの皆様の励ましのお言葉、本当にありがたい限りです。今後もできるだけ皆様におもしろい(興味深い)と思っただけのような記事を作っていきたいと思っ

○「いつもためになることが書いてある。」「子どものやる気を出せるようにと参考にさせていただきました。今のところ順調にやれています。」「あらためて、応援だよりを読み返してみると、気になることがあるので、これからは欠かさず読みます。」「具体的なご家庭の例を読んで『なるほど!』『うちもそうだ』と共感したりしています。」「中・高学年になるとこんな感じなのかなと思っながら読んでいます。」「グラフやノートの写真などわかりやすかったです。」「算数についての学習状況が載っていた際はとても参考になりました。」「小学生の親目線を書いてもらっているので、共感でき勉強になります。今後もよろしく願います。」「毎回“なるほど”と思うような内容でとても役に立ちます。実行できるかは難しいですが、参考になるような話などもあり、今後も楽しみにしています。」「今まで家庭学習についてあまり深く考えていませんでしたが、どんな風に取り組んだらよいか、どのように言葉かけするか参考にになります。」「このおたよりはとても参考にさせていただきます。」「具体的な学習方法のアドバイスはとても参考になります。これからも情報発信をしていただくと助かります。家庭学習に取り組むうえで応援だよりの知識が支えになっています。」「『家庭学習応援だより』は『なるほどなあ!!』と思うところがたくさんあるので参考にさせてもらっています。」「夏休み直前号では考えさせられるものがありました。いくつになっても、まだまだ知らないことばかり。ためになりました。」「夏休み直前号の様なタイプ別や、共依存(重度、中等度)診断 etc、自分で、どういうタイプなどの確認や、これから、自分で気を付けなければならないことなど新たな発見ができて良かったと思います。」「自分の気になっている事など掲載されているので毎回、欠かさず読んでいます。もちろん参考になることもありますが、?という事もあります。子育てについては、これからも我が家なりのルールで接していきたいと思っています。」「参考になる事、具体的なアドバイス・ポイントが多いのでとても楽しみにしています!幼稚園の時、1年生の時は家庭教育学級がありましたが上の学年なので毎回、じっくり読ませていただいております。」「自学の大切さや宿題の大切さを読んですごく参考になりました。」「子供たちの様子が分かりやすくて良いと思いました。毎回楽しみにしている家庭学習応援だより。次回も楽しみにしています。」「毎回読んでいますが、学習についての考え方などを知ることができ、とても役立っています。」「内容が濃く、とても興味深いおたよりだと思います。」

データ分析をよくされていて、具体的に比較されていると思います。」「いつも興味深く読ませていただいております。今まで配付されたものは上東の時からファイルにしまっており、下の子が高学年になった時に読み返せるようにしたいです!」「なるほど~!と思うことが多くて、子供たちに見てほしい部分を見せたりしています。」「家庭学習をする上での、親の関わり方、言葉掛けの例なども取り上げてくださっているので、改めて接し方を見直すことができます。」「毎回中身が濃い内容で目を通しています。子供のやる気が出るように参考にさせてもらっています。」「毎回、拝見しております。今までは、知らなかった情報もあつたりして、なるほどと思つてます。」「グラフやセルフチェックなどがあり分かりやすかった。知らないことなどもよんで知ることができた。」「毎号大変参考になります。(プリントは全部保管しています)児童のノートの取り方や家庭学習のやり方など細かいところまで教えて下さり、とても参考になります。新聞の記事を載せたりしているのもわかりやすいです。これからも楽しみにしていますのでどうぞよろしく願い致します。」「いつも楽しみにしております。忙しいときは、職場へ持っていき、お昼休みに読んでおります。知らなかった事がたくさんあり、とても参考になります。」「親の思うようには、なかなか進みませんが、応援だよりを参考にしつつ、本人のペースをつかんでもらえればと思います。」「学習内容、取り組み方などを、改める機会になります。」「とても参考になっています。」「具体的に書かれているので、とても分かりやすく、ためになります。」「いつも楽しみにしています。子どもとの関わりは勉強だけでなくコミュニケーションも大切だと思います。勉強も遊びも、子どもから進んで楽しくできる環境を作っていこうと思つきました。」「いつもありがとうございます!普段は目にしないような統計など勉強になります!」「毎回読んで子供たちの自主学習やドリルを選ぶ参考にしています。声かけのしかたなど気をつけています。」「いつも楽しみに読ませてもらっています。他の家が、どのように、家庭学習などにとりくんでいるのか、気になる所なので、とても、参考になります。」といった、お便りへの共感、ご自身やご家庭を振り返ったメッセージ。

→ご家庭で話題になる、ご自身を振り返るきっかけになると言っただけで十分ありがたいです。ご家庭に合ったもの、できそうなものをお試しいただけると幸いです。

○「文字ばかりで、なかなか読む気になれず、で読んでません。」「文字数が多く、読みにくく感じることはありません。」「読んでいくと納得する内容が多いのですが、もう少し字数を減らしてもらえたらもっと読みやすくなると思つきました。」「文字が多く、読む前から“時間がかかりそう…”と思つてしまうことがあります。せっかく作成していただいているのに、あまり読んでいない人も多いのでは!?と感じます。内容は納得できる、考えさせられるものばかりです。ぜひたくさんの方に読んでほしいです。」「学校 HP に UP して頂ければ、紙ベースのおたよりは、無くてもよいと思つきます。経費削減にもつながるのでは。」「細かくて文字が多く、活字ばかりで読む気がしない。」「もうちょっとくわしく書いてほしい。」(←これ以上詳しくとなると、一般論ではなく個別の対応が必要になるレベルです。お子様の担任に直接聞いたほうが早いと思つきます。)、**「できれば書面だけでなく、学級懇談会など、学年に応じて口頭でお話頂けたら、より内容の理解もしやすく、うれしく思つきます。」**といった、ご意見。

→今号も文字ばかりですね…。今回は特にですが、普段のお便りも確かに字数は、多いと思つきます。ですが、字数を減らしたために、皆様に誤った受け止められ方をされないように、との考えをご理解ください。また、HP へのアップは今後も続けますが、HP への掲載だけにしてしまうと、毎回、特定の関心のある方だけしかお読みにならないのではないかと危惧されます。また、わざわざ HP へアクセスしてまで読もうという気持ちになるかどうかも考慮しなければならぬ点です。関心の有無にかかわらず、広くお読みいただきたいので、今後も紙でも発行していきます。

おわりに

今回のアンケートで、本お便りへの関心の高さを改めて実感するとともに、保護者の皆様の気持ちがとても伝わってきました。また、皆様が同じような関心事や悩みをお持ちであることも、よくわかります。どなたかが「親目線」と書いてくださっていました。まったく「言い得て妙」だと思つきました。この「親目線」は、これからもブレずに持っていきたいと思つきます。